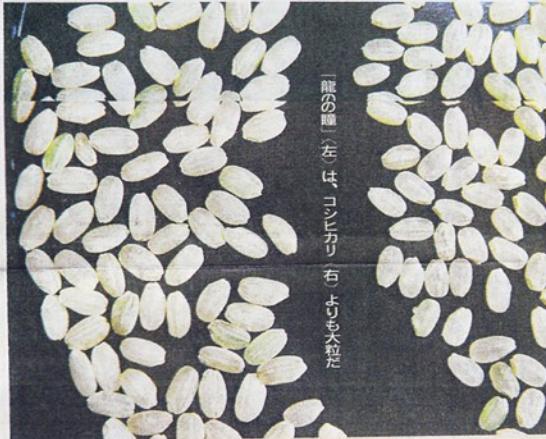




# コシヒカリを超えた「龍の瞳」

## 下呂 栽培環境追求、里山保全も



おいしい米の代表格コシヒカリ。最近この「コシヒカリ信仰」が揺らいでいる。全国各地で、「コシヒカリ」の味を超えるブランド米が出始めたからだ。

県内外で注目されている次世代高級ブランド米の一つか、低農薬・減化学肥料で栽培された「龍の瞳」。2000(平成12)年9月、下呂市のコシヒカリの田んぼ偶然に発見された稲の新品種である「コシヒカリ」の1.5倍と大粒で、粘りと香りと弾力があり、甘味も強く、全国米・食味分析鑑定コンクールで4年連続金賞を受賞。味には定評が

あります。この数年で作付面積が始まっている。米袋に掲示される広告収入は、米をなくして下呂市内の山の再生に再投資される。里山を育てることで山の保水力を高め、ひいては田んぼに流れ込む水づくりにつなげる。「澄んだ水が流れ、トンボやドジョウ、ホタルがすむ田んぼで龍の瞳を栽培したい。下呂をまずモデル里地域とし、県内の中山間地に里山構想を実現する」と、生みの親、今井隆さん(54)。下呂市萩原町宮田Ⅱの龍のように崇高で壮大な夢は、その一步を踏み出した。(沢野都)

# 次世代米 すくすく 夢



あり、ここ数年で作付面積が  
右上がりに増えている。  
こだわりは、味や栽培方法  
だけではない。龍の瞳が目指  
す目的は、地球環境の向上と  
地域活性化。この米を食べる  
ことが健康増進につながり、  
さらに地域活性化や地球環境  
にも役立つというシステムを